

興除地区 人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
岡山市	南区第一地域(興除地区)	令和5年1月19日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1,176 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	680.9 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	332.0 ha
i うち後継者未定(回答有)の農業者の耕作面積の合計	68.8 ha
ii うち後継者について不明(回答無)の農業者の耕作面積の合計	210.5 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	133.8 ha

2 対象地区の課題

<p>回答者のうち、65才以上の農業者は70%、75才以上の農業者は32%であり、今後、農業者の高齢化が進むと見込まれる。また、回答者のうち、65才以上で後継者がいない・未定の人数が40%で、その面積は回答者の耕作面積全体の24%にのぼるなど、後継者不足が懸念される。</p>
<p>回答のあった農業者が今後引き受ける意向のある耕作面積(184ha)は、回答のあった65才以上で後継者なし・未定等の農業者の耕作面積(164ha)を上回っており、今後、耕作放棄地が急激に増えることはないと思込まれる。 一方、出し手となる農業者の貸付等意向面積(40ha)が中心経営体の引受け意向の耕作面積(133.8ha)を下回っていることや、中心経営体が耕作する農地が複数個所に分散し農作業の効率が悪いことなどが課題として挙げられる。今後、中心経営体への農地集約化を進めるにあたり、飛び地解消などの効率化を図ることや農地中間管理機構などを通じての貸付等面積の拡大が求められる。</p>
<p>農業を将来も継続できることが大切であり、副業、兼業で農業の魅力を感じられるような環境整備が必要。大規模だけではなく、中・小規模の農業従事者の収益が増える、魅力ある施策が必要。</p>
<p>農機具の更新・整備費用も含め、生産コストが高く、水稻の収益性が低いことなどから、後継者がいても引き継ぐことに不安を感じている耕作者が一定数いる。</p>
<p>他品目・高収益作物や加工品販売などにも取り組む意向のある耕作者もいるが、適正な品種の検討や、新たな販路確保が課題である。</p>
<p>高齢により全ての作業をこなすことが困難なため、継続していくことに不安がある耕作者が一定数おり、地域で作業を引き受ける等して補うことや、高齢でも取り組める作物などの検討が必要。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>地区内の中心経営体である認定農業者(個人・法人)は、後継者がいない・未定の農地利用を積極的に検討するなど、集約化の取り組みを推進する。</p>
<p>地区内の農業者に対して、農業委員会の広報等を通じ、農地貸付には中間管理機構を活用することや、農地集約の目的等を周知・啓発し、担い手となる中心経営体への農地集約を推進していく。</p>
<p>中心経営体は、現在分散している農地の集約化や新規中心経営体の農地増について、中心経営体同士での話し合いや意見交換会等の相互協議を行い、農地集約などについて効果的な手法等を協議・検討する。</p>